

## 公益社団法人滝川市シルバー人材センター 令和4年度 事業報告

### 1. 事業の概要

滝川市シルバー人材センターは、市内に居住する60歳以上の健康で働く意欲のある人たちが、会員となり「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、事業目標達成に向け会員・役職員が一丸となり、事業の推進に努力してまいりました。

年々厳しくなっている会員の確保や事業実績を上げるため、市役所ロビーでパネル展を開催して入会説明やシルバーのPR活動を行ったほか、広報たきかわの広告掲載や市老連の情報紙掲載などで会員の募集等を行い、会員の入会や受注拡大に努めましたが、登録会員数は目標達成とまではいきませんでした。

就業延人員数は0.2%減、会員数は病気や加齢による退会により昨年度に比べ64人減となりましたが、事業金額は公共で9.8%の増、民間で1.8%の増、一般家庭で3.1%の増となり、全体では3.9%の増と前年度を上回りました。パネル展・仕事説明会の開催、新規事業として自動車のタイヤ交換事業の実施、各種メディアを利用した啓発などの効果と考えています。

また、事業の基本である安全就業については、傷害事故1件、賠償事故が1件起きてしまいました。就業現場安全パトロールを夏と冬に各1回実施し、安全に対する意識改革を図り、事故を未然に防止するよう努めました。

令和5年度においても、健康で生きがいを求める高齢者の入会促進、多様な需要に応えられるような就業体制を構築し、地域の方に喜ばれ、頼りにされるシルバー人材センターづくりに努めてまいります。

以下、事業の実施状況について報告いたします。

区 分	前 年 度	本 年 度	比 率
登録会員数	300人	236人	78.7%
受注件数	4,316件	4,493件	104.1%
就業延人員数	26,118人	26,072人	99.8%
事業金額	118,572千円	123,142千円	103.9%

### 2. 事業の実施内容

#### (1) 就業機会の拡大

- ① 会員募集広告に併せて、受注拡大を一般家庭、企業等に協力を働きかけるとともに、親切丁寧で誠実な就業を通してリピーターとなっていただけるように努めました。
- ② 豊かな経験・知識・技能を生かした就業意欲を有効に活用できるよう、ローテーション就業やグループ就業など、就業先の理解を得ながら公平で適正な就業に努めました。

- ③ 会員が技能を身につけるために研修室兼作業室を活用し、技能の習得に努めました。
- ④ シルバー人材センター事業の請負・委任契約になじまないと思われる業務の受注に関しては、依頼者に派遣事業について説明し、業務の拡大に努めました。

## (2) 会員の入会促進と組織強化

- ① 市役所ロビーでパネル展を開催し、入会説明やシルバーのPR活動を行ったほか、市老連の情報誌などで会員の募集に努めました。
- ② 広報たきかわ等で会員募集広告の掲載や会報「かがやき」を広報たきかわに折り込み全戸配布したほか、普及啓発促進月間に併せ、会員・役職員が一体となつての呼びかけや口コミ、ホームページへの掲載など、健康で働く意欲のある会員の加入と拡大に努めました。
- ③ 一人暮らしの高齢者や共働きの家庭等のニーズに應えるため、介護や家事援助サービスを支援するシニアサポーターの募集チラシを配布し、会員の確保に努めました。
- ④ 各技能講習会を開催し、意見交換や会員相互の連帯意識の高揚を図るとともに、安全就業や技能・技術の向上に努めるなど、各種機会を通じて意識改革を図りました。
- ⑤ 会員の新規入会や退会、就業に関する不安や悩みなどを解消するため、随時相談に努めたほか、全会員に「会員状況調査表」を配付し、会員の登録内容の確認や健康状態、希望する仕事など、会員の現状を把握しました。
- ⑥ トレーニング室や研修室兼作業室を利用する会員の入会促進やシルバー人材センターの認知度の向上に努めました。

## (3) 普及啓発活動・ボランティア活動の実施

- ① 会員の作業を実際に見てもらうため、市役所ロビーでのパネル展開催に併せて、市役所前庭の樹木の剪定と冬囲いを行い、会員募集、事業の拡大や普及啓発に努めました。
- ② ボランティア活動として、地域に密着したセンターとして多くの会員の参加を呼びかけ9月に旧江部乙中学校の廃棄図書処分の処分、2月に福祉住宅の除雪を実施したほか、社会貢献事業の一環として開校50周年記念を迎えた滝川西高等学校の校舎前庭の樹木の伐採や垣根の剪定などを行いました。

## (4) 安全就業と健康の推進

- ① 安全委員会は、コロナウィルス感染拡大の防止のため中止し、全会員に令和4年度事故防止指針、安全・適正就業宣言書を配布しました。
- ② 安全委員と役員による就業現場の巡回パトロールを夏と冬に実施し、安全意識の高揚、安全保護具の着用、器材等の適正使用の徹底を図り、「ゼロ災」に向け事故の防止に努めました。
- ③ 各技能講習会の開催時には、健康と安全就業に対する意識の醸成を図り、就業途上での交通安全、就業中では使用機材の整理・整頓など、会員相互に確認するなど安全就業に対する意識の高揚に努めることとしました。
- ④ 長く就業するためには、健康が第一であることからトレーニング室を活用し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して会員の健康づくりや体力の向上に努めました。